

進路だより

2011年3月1日 進路指導部発行

目 次

「開拓者たれ!」・・・・・・・・・・	1
30期生の進路状況・・・・・・・・・・	2
どんな大人になりたいですか?・・・・	3

「開拓者たれ!」

第12代校長 大 川 徹

3年生の諸君、

「新川高校卒業おめでとう」

3年間、よく頑張りました。

私達は「学力」「自立」を育てました。自信を持って次のステージに飛躍して下さい。

31期生は新3年生、32期生は新2年生と進級します。高い目標を持ちさらに飛躍して下さい。そして4月から新入生を温かく迎えて下さい。

さて、国際情勢の不安定化や我が国の制度疲労など、社会構造は大きく変化してきております。それに伴い教育環境も、学習指導要領の改定など「生きる力」に代表されるように、21世紀を生き抜くための教育活動の見直しが課題となってきました。そのような状況下、札幌市立高等学校の共通施策として、平成15年度より、一人ひとりの個性や特性を伸ばし、主体的に学ぶことを目標に、進路探究学習(1年:進路セミナー、2年:職場体験)に取り組み大きな成果をあげており、そして、高大連携として、酪農大学、市立大学看護学部・デザイン学部、小樽商科大学、千歳科学技術大学の4大学と市立高校8校が包括協定を提携しております。大学が企画する公開講義や平常授業に学生たちと一緒に参加し、大学の授業を体験するものです。多くの本校生徒が参加することを期待しております。進路探究学習は生徒諸君の学習意欲を高め、将来の生き方や進路について考える「きっかけ」になると思います。

脳科学者である茂木健一郎氏は著書である「脳を活かす勉強法」の中で、学習の効果を見出し、成績を上げる方法のために、ドーパミンという物質が脳から出て活動が強化される「強化学習」をすすめています。プロフェッショナルの話を紹介いたします。一つは、考えがまとまらない場合、考えぬいてから「寝る」ことを勧めております。寝ると脳が考えていた事を整理し、起きた時、斬新なアイデアが生まれてくる場合があります。二つは、情報が入り過ぎる場合、その処

理で脳が精一杯となります。そんな時、外からの情報が入らないように、一人でいると、「ひらめき」が湧いてくることもあるそうです。

皆さんは、大学に入るだけが目的で勉強している訳ではありませんが、本当の学問と受験は同じ物で特別な別々の物ではありません。皆さんの大部分は進学を希望しています。普段の授業は勿論、学期間や長期休業中、講習、模擬試験、大学の公開講義を積極的に受け、「強化学習」を活用し自分の学力を高めて下さい。

皆さんは自分の将来に希望を持ち、これまでに培ってきた将来像を思い巡らしていることでしょうか。大きな志を持ち、それに向かって努力して歩むことが尊い生き方です。進路選択には自主自立の精神のもと、「目的意識」を持つことが大切です。本校は「開拓者たれ」の校訓のもと文武両道を貫いております。様々な分野で伸び伸びと自由に活動ができ、互いに刺激し合い切磋琢磨できる環境にあります。しかし進路の決断は厳しさを伴いますが、皆さんの周りには、同じ目線で相談に乗ってくれる先生方や大勢の仲間たちが見守り、自分の進路を考える環境が整っております。ひとり一人の夢の実現に向かって、積極的にかつ意欲的に取り組んでください。

将来の進路は保護者・先生方、そして先輩や友達とよく話しをして下さい。迷っている時、外部からの「情報」と「きっかけ」が必要です。そんな時、「進路だより」は君達の進路実現の大きな道標となります。十分に理解し、自分が目指す夢や希望の実現に努力して下さい。

終わりに、21世紀をリードする人間に必要な力とは、本校が目指している社会人基礎力(ATT)です。

- (1) Action (前に踏み出す力)
- (2) Thinking (考え抜く力)
- (3) Teamwork (チームで行動する力)

君たちの健闘を期待しています。

30期生の進路状況

進路指導部長 寺崎 敏之

1. この1年を振り返る

昨年の1月に第1志望宣言を提出してから、30期生のためぐるしい活躍が始まりました。講習受講者数も模試受験者数も、3年では過去最高。専門学校や大学への進学相談会・オープンキャンパス参加者数も過去最高になりました。また、公務員志望生徒は2年生の秋から学校推薦の予備校に通い、合格を目指しました。民間企業への就職も順調でした。

2年の冬までは先行きに多少不安を感じずにはいられない状況でしたが、担任団の先生方が進路別集会や予備校講演会、スタディ・サポートの実施、綿密な面談など刺激策を講じ、それが進路意識が高まってきた生徒たちとうまくかみ合っ、全体としては非常に順調に伸びてきた、これが30期生の印象です。

大学入試に関してはまだ結果が出ていないので総括はできませんが、これまでの合格状況と大学入試センター試験について、以下解説していきます。

2. 合格状況 (2/14 判明分、延べ人数)

① 大学・短期大学 推薦入試合格者 31名

過去5年間で比較すると、推薦入試における国立大学の合格者数は2番目に多く、私大は例年より少なめ、短大が過去最少になっています。

全国的な受験生の国公立志向の高まりと、「推薦ではなく受験で少しでも高いレベルの大学をめざそう」という新川生のチャレンジ精神がその背景にあります。

<国立大学 8名> (人)

小樽商科大学	3
北海道教育大学 旭川校	1
北海道教育大学 札幌校	1
信州大学 (工学部)	1
札幌医科大学 (保健医療学部)	1
ほこだて未来大学	1

<私立大学 20名> (人)

明治大学	1
法政大学	1
北海学園大学	4
北星学園大学	2
藤女子大学	1
天使大学	2
北海道医療大学	2
北海道文教大学	6
千歳科学技術大学	1

<短期大学 4名> (人)

北海道武蔵女子短期大学	1
-------------	---

札幌大谷大学短期大学	2
創価女子短期大学	1

② 専門学校 27名

専門学校は医療系が1/3以上を占めています。医療系の人気校は試験があって競争が激しく、合格には相当な準備が必要です>(*学校数が多いため校名は学校ホームページに掲載します。)

③ 就職等 10名

<公務員 7名/実人数5人> (人)

国家Ⅲ種 (税務)	1
北海道警察	1
札幌市消防吏員	1
東京消防庁	1
自衛隊 一般曹候補生	1
自衛官候補生	1
海上保安学校	1

公務員試験は、2年生の秋から予備校に通って対策を練らなければなかなか合格できない状況が続いています。倍率が高く最終合格は狭き門だったようですが、新川では過去最高の合格者数になっています。

<大学校 0名>

「大学」は文部科学省管轄ですが、その他の省庁管轄の場合は『大学校』と呼ばれます。気象・防衛・航空保安大学校、銭函の職能開発大学校などがあり、給料を支給されながら高い専門性を持った教育を受けることができます。

<民間企業 3名> (人)

ホクレン農産広域センター	1
北海道電力	1
コンサドーレ札幌 (選手)	1

高校生就職難の時代ですが、新川の民間就職は合格率100%、1回で行き先が決まりました。しかし、一朝一夕で合格を勝ち取ったわけではありません。3人とも、これまで続けてきた部活・スポーツをはじめとする日々の蓄積があり、それが人物の評価と相まって好結果に結びつきました。

いずれの企業も学校と連絡を何度も取ってくれたため、学校側も安心して生徒を送り出すことができました。

3. 大学入試センター試験(1/15-16)の結果

① 900点満点の総合得点上昇

センター試験出願者数は238名。そこから推薦入試合格者が抜けた結果、1月のセンター試験受験者数は211名でした。

過去2年間は連続してセンター試験が難化し、1昨

年は文系、そして昨年は理系の生徒が大きな影響を受けました。

しかし今年は一転して易化。英語と数学ⅠA、物理の平均点上昇で文系・理系とも総合平均点が上昇し、それなりに達成感を得た受験生が多かったようです。

<参考：総合得点7科目900点の内訳>

	英国	数学	理科	地歴公民
文系	各	ⅠA・ⅡB	1科目100点	2科目200点
理系	200点	各100点	2科目200点	1科目100点

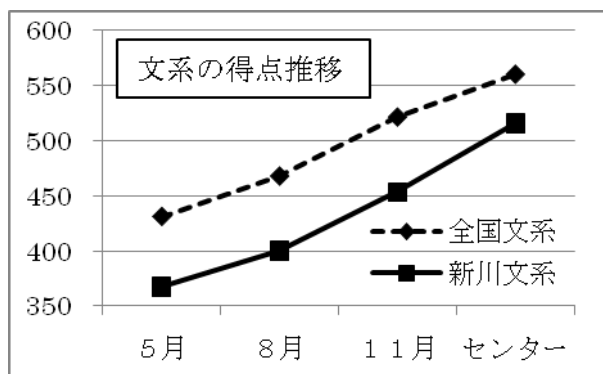
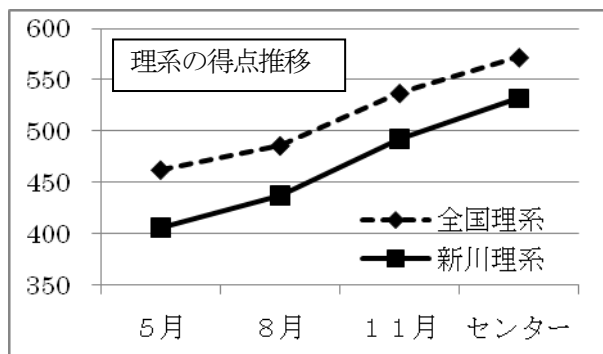
② 文・理 総合平均点(900点満点)の推移

「センター試験までに平均で150点伸びるから、センター試験が終わるまで第1志望を変えないで頑張ろう」と先生方は言い続けてきましたが、実際はどうだったのでしょうか。模試とセンター試験本番の平均点を比較して伸びを分析すると、次のようになります。

<30期生得点の伸び—文理総合平均点の推移—>

	5月 模試	8月 模試	11月 模試	センタ ー試験	伸び 幅
全国文系	430.8	467.5	521.1	560.0	129.2
新川文系	367.1	400.1	453.4	515.4	148.3
全国差	-63.7	-67.4	-67.7	-44.6	19.1
	5月 模試	8月 模試	11月 模試	センタ ー試験	伸び 幅
全国理系	462.4	486.0	537.1	572.0	109.6
新川理系	406.1	437.0	491.9	531.9	125.8
全国差	-56.3	-49.0	-45.2	-40.1	16.2

* 模試は河合塾全統マーク模試、全国総合点は駿台予備学校発表値



ほぼ順調に得点を伸ばすことができたことがわかります。特徴的なのは、

- i. 文系・理系とも順調に伸びて全国平均との差を縮めてきたこと、

- ii. 最終的に新川は文系・理系とも全国の得点の伸びを約20点上回っていること、
 - iii. 特に文系は秋からの伸びが目覚ましく、全国との差を大きく縮めたこと、
- の3点です。

4. 進路実現に向けて

みんなが順調に伸びてきたわけではありません。5月から約300点得点を伸ばした生徒がいる一方、残念ながらあまり伸びなかった生徒もいます。しかし、落ち込んでいてはチャンスは逃げていきます。

国公立の場合、合否はセンター試験と2月に行われる大学個別の試験で決まります。1・2月の直前ゼミには多数の生徒が参加して、2月の2次試験対策の演習と添削指導・面接練習が行われました。生徒も先生もなんとか合格を勝ち取ろうと真剣でした。卒業式後も、国公立中期(3/8)・後期(3/12～)試験対策で登校する生徒が多数います。まだまだ、努力は続きます。

合格した生徒たち、おめでとう。でも、合格は人生の「あがり」ではありません。将来の『夢』に向かって、着実な歩みを続けてくれることを願っています。

第1志望ではないところへ進む生徒たち、落ち込んでいるかもしれませんが、ここが頑張りどころです。目標を設定して努力する持続力とともに、状況が変わったら目標を修正してまた努力する臨機応変さを持たせたら、人生はきっとすばらしいものになります。

入試の最終結果はまだわかりませんが、どんな進路に進むにしても、30期生は新川で続けてきた努力を誇りにして良いと思います。先生方は在学中も卒業後も、新川生を応援しています。



<新川受験生応援団> センター試験初日、受験生を応援しようと、伝統の旗を持って会場に15名の先生方が集まりました。

どんな大人になりたいですか？

第3学年



高校生のうちに、自分の将来の進路を決めるというのは、みなさんにとって結構しんどいことなのかもしれません。

「ここに進学すれば将来絶対幸せになれる」という学校もなければ、「この仕事に就けば絶対幸せになれる」という職業もありません。じゃあどこに進学しようが就職しようが、人生がたいして変わらないかという、決してそうではない。こんな状況の中では、みなさんが悩み迷ってしまうのも無理ないでしょう。

結局、進路を決めるとは「どんな大人になりたいか」ということに大いに関係があるのではないのでしょうか？「でも大人の世界って汚いよね。ニュースを見ても政治の世界はドロドロしているし、スポーツ界でさえも八百長はあるし。」そうですよね。「こんな大人になりたいなあ」と思えるようなお手本になる大人はあまりいないかもしれません。

でもみなさんの周りにはいませんか？「どうしてこの人はいつも生き生きとして幸せそうなんだろう」と思えるような大人。それがみなさんの親御さんだったり近所のおじさんかもしれない。そういう大人って、大人になっていろいろなものに興味と好奇心を持って、そして新しいことにもどんどん挑戦して仕事も生活も楽しんでいます。世の中、疲れ切ってつまらない大人ばかりではないということですね。

逆に自分では何もしないで他人の批判や悪口ばかり言っている大人もいます。特にネットが発達してからはネット上にこういう人が大量に出現してきました。もちろんネット上だけでなく現実世界にもいます。私も以前そういう人を見てイライラしたこともありました。でもそういう時は心の中で尋ねてみることにしました。「そんなふう生きて、あなた今幸せですか？」って。

さて、話を戻しましょう。幸せな大人になるためにはどうしたらいいのでしょうか？まず生活していけるだけの収入は必要でしょう。経済的にきついと心もすり減ってしまいます。だから仕事と収入はとても重要です。でもそれ以上の収入となるとどうでしょうか？収入の多さと幸福度は比例するのでしょうか？そのカギは心の豊かさにあると思います。

心豊かでない人は、物質や情報を消費することだけで心を満たそうとします。例えば日々の楽しみが、ブランド品を集めて着飾ること、話題のお店に食べに行くこと、最新型の車を買うこと、発売されたばかりのスマートフォンを手に入れること。「歌舞伎役者が暴行事件に巻き込まれた」とか「昔のマンガの主人公を名乗る慈善家が大勢現れている」とか、ご近所のうわ

さ話とかの情報さえも毎日消費するだけ。こんな「消費するだけの大人」は、消費すること自体が目的なので欲求も次から次へと尽きることがありません。消費したその瞬間だけはハッピーにはなりますが、持続性がないので本当に満たされることはないでしょう。それにお金がたくさんないとハッピーも続きません。大金持ち以外の多くの人は、ハッピーを続けることができずに結局「自分は不幸だ」ということになってしまいかねません。

こんな「消費するだけの大人」にならないためには、どうしたらいいのでしょうか？

例えば、おいしいものを食べた時、「これはどんな人がどんな風に作ったんだろう？材料の野菜もどんな風に育てたのかなあ？今度自分でもこんな料理を作ってみよう。」と思いを発展させることができる人。いろんなニュースを見て自分なりの感想や意見が自然に浮かんでくる人。そんな「想像力」や「創造力」は、お金では決して手に入らない豊かな心からくるでしょう。豊かな心は、世の中の様々なことを食欲に吸収することで育まれます。

みなさんはどんな大人になりたいですか？

先日、卒業生の結婚式に呼ばれる機会がありました。卒業後7年のメンバーが何人か集まったので、思い出話に花が咲きましたが、それよりも私が知りたかったのは「高校時代頑張っていた彼ら彼女らが、今どんな仕事をしていて、どんなふうに充実した毎日を送っているのかなあ？」ということでした。それぞれ分野は全く違いますが、就職してまだ2～3年。幸い仕事も生活も充実しているようで、そんな話を聞くのもまた楽しいひとときでした。

教員の仕事はみなさんが卒業するまでなので、残念ながら、こんな機会でもない限り、卒業生がその後幸せな人生を送っているかどうかを知ることはできないのです。そういう意味で教員とは達成感の少ない職業かもしれません。卒業後何年かしたらぜひ、「今、こんなふうに幸せに暮らしています。」と知らせてほしいものです。それが私にとって日々の糧になるのです。

